



### 3 在宅療養の実際～訪問看護師の立場から～

南三陸訪問看護ステーション 千葉 美由紀 氏

2014年2月日本看護協会主催の復興フォーラム「被災地の看護は、いま」が東京よみうりホールで開催され発表してきた内容を報告しました。

私たちのステーションは全て流されてしまいましたが、震災6日後には歩いて訪問を再開しています。

東日本大震災でライフラインが全て途絶えたことで、エアマットが切れてしまったこと、ほかに低栄養、劣悪な環境下での避難生活なども要因となり、かなりの人たちに床ずれが発生し悪化がみられました。また、在宅では人工呼吸器・在宅酸素・吸引器など医療機器を使用している人も多くいます。震災を経験したからこそ、日頃の備えについて再検討し、救急車等の公的支援が入るまでの時間を自分たちでどう命を繋げるかということで、電源確保についても複数の対応方法をあらかじめ準備しておくことが最も重要であると思います。私たち訪問看護師は、これからも地域・利用者さん・ご家族の方に寄り添い、安心して家で暮らし続けることを支えていきたいと思っています。

### 4 在宅療養で受けられるサービスの紹介・訪問入浴

訪問入浴春夏秋冬 小山 太郎 氏

お風呂は日本人の文化といってもいいくらいの生活において欠かせない事かと思えます。人によってお風呂の意味合いが違い、清潔を保つために入る人、体を温めたい人、寝る前に入る人、朝起きて入る人、人それぞれです。お風呂や温泉は昔より日本人にとって密接な関係にありました。訪問入浴介護とは、何らかの事情でお風呂に入ることが困難になった方に持ち運びができる浴槽を持ち込み、身体に負担なくお風呂に入って頂くように介助するサービスです。訪問は看護職員1名、介護職員2名の3人で伺い、車に搭載されているポイラーからご自宅のお部屋にお湯をホースで引き、お部屋でお風呂の介助を行います。移動等は、3人で介助をするので、寝たままの移動もあり身体に負担なく、入浴できます。お風呂では清潔の確保、また体の状態も観察しながらお風呂に入れるので、褥瘡の早期発見や、皮膚の状態の観察などを行い、生活のひと時を過ごして頂いております。



### 5 在宅療養で受けられるサービスの紹介・訪問入浴

広域介護サービス気仙沼 小松 治 氏

ケアマネジャーの立場から「訪問入浴介護」を紹介しました。

三大介護の一つと言われている入浴介助について、介護保険のサービスには、「自宅で入浴できるサービス（訪問介護・訪問入浴介護）」、「通って入浴できるサービス（通所介護、通所リハビリテーション）」、「自宅での入浴を補助するサービス（福祉用具購入、福祉用具貸与、住宅改修）」があることを紹介し、サービスを利用したい時は、ケアマネジャーがいる事業所、市役所、地域包括支援センターに相談してほしい旨をお伝えしました。

その後、訪問入浴介護を導入するにあたって、ご利用者様・ご家族様から多く聞かれる質問（①なんぼすんのっさ？②どこで入れんのっさ？車の中で入んのっさ？③お湯は車に積んで来んのっさ？④部屋狭いんだけど大丈夫っさ？⑤駐車場が遠いんだけど大丈夫っさ？⑥部屋が2階んだけど大丈夫っさ？⑦体重が重いんだけど大丈夫っさ？）についてひとつずつ説明しました。